



2021年5月27日

報道関係各位

九州産業大学
福岡ソフトバンクホークス株式会社

動画を活用した野球の国際技術指導に関する共同研究について

九州産業大学（以下九産大）と福岡ソフトバンクホークス株式会社（以下ホークス）は、動画教材を利用して国際的な野球競技の普及と技術力向上を目指す共同研究を2020年9月1日から開始しました。

ホークスの選手やコーチがボールの握り方・投げ方といった野球の初歩から、ベースカバーや捕手の守備方法などの実践的内容までを指導する約10分の動画を2021年8月末までに24本を制作します。

中国上海市の小学生と大学生が所属する合計41の野球チームに送り現地コーチが動画を理解して選手を指導するスタイルで技能向上の効果検証を行うもので、これまで16本を制作しました。

動画はホークスが作成したシナリオに沿ってホークスOB選手やコーチが実演する様子を「九産大×ホークス プロスポーツビジネス連携講座」※を受講する学生が撮影・編集し、九産大の中国人留学生が国際交流センター職員監訳のもとで、中国語に翻訳して制作します。

中国では、プロ野球のリーグが2002年から開始され、これまで日米のプロ野球組織による支援が盛んに行われたものの、人気・実力とも未だ発展段階にあります。一方で、その経済成長と人口数を鑑みると、中国での競技普及が野球の世界的普及のカギを握っているといえます。

そのような中、日本の野球の高い技術力と礼儀作法を含めた文化的側面を導入し野球人気と競技力を向上させたいという上海野球倶楽部の要望に、野球指導ノウハウのコンテンツ化を通じてブランド力の向上と国際市場の開拓を目指すホークスが応えて現地での指導を検討しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて実施困難な状況になったことから、遠隔で実施可能な指導方法を確立したいと「スマートコーチ」の導入など遠隔での運動競技技術指導法の研究を進める九産大との共同研究が実現しました。

※「九産大×ホークス プロスポーツビジネス連携講座」及び共同研究の概要、指導動画キャプチャー画面については別紙をご覧ください。

【別紙】

【九産大×ホークス連携講座について】

ホークスを教材に、スポーツビジネスの専門人材を育成することを目的として2018年に開講した講座です。ホークス役員・管理職による座学、試合観戦・球場視察、地域貢献活動の企画運営等から総合的に学べる内容になっており、学部・学年を問わず学習意欲の高い学生が受講できる講座として運営されています。

【共同研究の概要】

共同研究の目的・内容

福岡ソフトバンクホークスが持つ野球指導メソッドを基にした指導動画を九州産業大学と共同開発し、中国市場の競技普及に向けた新たな方法を開発し、その効果を検証することを目的とする。

研究体制

福岡ソフトバンクホークス株式会社

木下 太郎	事業統括本部	野球事業推進本部	スポーツ振興部	部長
岩尾 文博	事業統括本部	野球事業推進本部	スポーツ振興部	野球振興課 課長
田中 三紗子	事業統括本部	野球事業推進本部	スポーツ振興部	野球振興課

九州産業大学

福田 拓哉	共同研究代表者	人間科学部・スポーツ健康科学科	准教授
堀内 雅仁	国際交流センター		部長
王 相元	国際交流センター		職員
中山 リカ	国際交流センター		職員

【指導動画キャプチャー画面】

